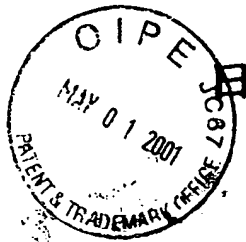


09/783,598

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT



日本特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application:

2000年 2月16日

出願番号
Application Number:

特願2000-037749

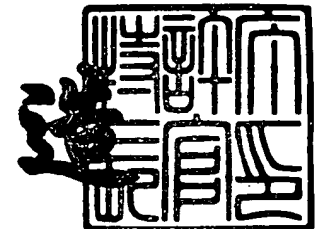
願 人
Applicant(s):

株式会社リコー

2000年12月 8日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 0000370

【提出日】 平成12年 2月16日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 13/00
G06F 3/12
G06F 12/14

【発明の名称】 入出力装置

【請求項の数】 13

【発明者】
【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式会社リコー内
【氏名】 笠谷 潔

【特許出願人】
【識別番号】 000006747
【氏名又は名称】 株式会社リコー

【代理人】
【識別番号】 100060690
【弁理士】
【氏名又は名称】 瀧野 秀雄
【電話番号】 03-5421-2331

【手数料の表示】
【予納台帳番号】 012450
【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 9808803

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 入出力装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 データの転送方法を異にする回線網に接続され、接続された回線網に対してデータの送受信を行う送受信部と、

印刷装置に対して印刷データを出力する印刷出力部と、

データの入出力を行う入出力部と、

データを蓄積する蓄積部と、

前記送受信部および前記入出力部より入力されたデータを前記蓄積部に蓄積し、また前記蓄積部に蓄積されているデータを前記送受信部、前記入出力部、または前記印刷出力部に出力する入出力制御部と、

を備え、

前記送受信部で転送用識別子が受信された場合は、前記入出力制御部が前記転送用識別子に付加されているファイル名に対応するデータを前記蓄積部よりサーチし、前記転送用識別子に付加されている転送先に出力する、ようにしたことを特徴とする入出力装置。

【請求項 2】 入力したファイル名に対するデータが前記蓄積部に蓄積されていない場合は、転送用識別子に前記入力したファイル名および自入出力装置のアドレスを付加して他の入出力装置に対して出力するようにしたことを特徴とする請求項 1 記載の入出力装置。

【請求項 3】 前記回線網が F A X 回線、インターネット回線、有線 L A N 回線、またはこれらの組合せであることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の入出力装置。

【請求項 4】 前記蓄積部を親展用蓄積部および出力用蓄積部で構成し、前記入出力制御部が入力されたデータに付加されている識別子が親展用識別子であるときは前記親展用蓄積部に蓄積させるようにしたことを特徴とする請求項 1、2 または 3 記載の入出力装置。

【請求項 5】 前記親展用識別子が送信元を特定できる識別子、送信先を特定できる識別子、または送信元および送信先が特定できる識別子であることを特

徴とする請求項 4 記載の入出力装置。

【請求項 6】 前記転送用識別子に付加されたファイル名が前記親展用識別子であることを特徴とする請求項 1, 2, 3, 4 または 5 記載の入出力装置。

【請求項 7】 前記転送用識別子に、転送させるデータに前記親展用識別子を付加しないで転送させることを付加したことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の入出力装置。

【請求項 8】 前記入出力制御部が、前記蓄積部に蓄積されているデータに付加された識別子に基づいて前記送受信部、前記入出力部また前記印刷出力部に出力するようにしたことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の入出力装置。

【請求項 9】 前記蓄積部に蓄積されているデータを前記送受信部、前記入出力部または前記印刷出力部に対応するデータの形式に変換するフォーマット変換部を設けたことを特徴とする請求項 8 記載の入出力装置。

【請求項 10】 前記入出力装置がファクシミリ装置に装着されていることを特徴とする請求項 1 乃至 9 項のいずれかに記載の入出力装置。

【請求項 11】 前記入出力装置がプリンタ装置に装着されていることを特徴とする請求項 1 乃至 9 項のいずれかに記載の入出力装置。

【請求項 12】 前記入出力装置がデジタル複写機またはそれにファクシミリおよびプリンタ機能を合せたデジタル複写機に装着されていることを特徴とする請求項 1 乃至 9 項のいずれかに記載の入出力装置。

【請求項 13】 前記入出力装置がパーソナルコンピュータ等の情報処理装置に装着されていることを特徴とする請求項 1 乃至 9 項のいずれかに記載の入出力装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はデータの転送方法を異にする回線によって転送されたデータおよび入力されたデータを蓄積して指定された転送先に転送または印刷装置に転送するデジタルデータの入出力装置に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

今日では F A X、インターネット、 L A N 等により画、図形、文書等をデジタルデータに変換し印刷出力することが行われている。

またパーソナルコンピュータやワープロなどで作成された文書や図形はプリンタによって印刷出力することが行われ、更に印刷された文書、図形、画などを複写することも行われている。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

前述した各システムや装置を別々に設置した場合は、それらの機器の設置面積が膨大となる他コストも上昇することから、例えば F A X と複写を合せ持つ複号装置が使用されている。

【 0 0 0 4 】

しかしながら、前述した、 F A X、インターネット、 L A N 等にアクセスし、転送されたデータまたは作成されたデータの印刷、転送および中継を行わせる装置は提供されていない。

【 0 0 0 5 】

本発明はデータの転送方法を異にする回線によって転送されたデータおよび入力されたデータを指定された転送先に転送または印刷出力を可能にし、また誤って転送されたデータを正規の転送先に転送する入出力装置を提供することを課題とする。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

請求項 1 の発明においては、データの転送方法を異にする回線網に接続され、接続された回線網に対してデータの送受信を行う送受信部と、

印刷装置に対して印刷データを出力する印刷出力部と、

データの入出力を行う入出力部と、

データを蓄積する蓄積部と、

前記送受信部および前記入出力部より入力されたデータを前記蓄積部に蓄積し

、また前記蓄積部に蓄積されているデータを前記送受信部、前記入出力部、または前記印刷出力部に出力する入出力制御部と、
を備え、

前記送受信部で転送用識別子が受信された場合は、前記入出力制御部が前記転送用識別子に付加されているファイル名に対応するデータを前記蓄積部よりサーチし、前記転送用識別子に付加されている転送先に出力する。

【 0 0 0 7 】

請求項 2 の発明においては、入力したファイル名に対するデータが前記蓄積部に蓄積されていない場合は、転送用識別子に前記入力したファイル名および自入出力装置のアドレスを付加して他の入出力装置に対して出力する。

請求項 3 の発明においては、前記回線網が F A X 回線、インターネット回線、有線 L A N 回線、またはこれらの組合せとする。

請求項 4 の発明においては、前記蓄積部を親展用蓄積部および出力用蓄積部で構成し、前記入出力制御部が入力されたデータに付加されている識別子が親展用識別子であるときは前記親展用蓄積部に蓄積させる。

【 0 0 0 8 】

請求項 5 の発明においては、前記親展用識別子が送信元を特定できる識別子、送信先を特定できる識別子、または送信元および送信先が特定できる識別子とする。

【 0 0 0 9 】

請求項 6 の発明においては、前記転送用識別子に付加されたファイル名が前記親展用識別子とする。

請求項 7 の発明においては、前記転送用識別子に、転送させるデータに前記親展用識別子を付加しないで転送させること付加する。

【 0 0 1 0 】

請求項 8 の発明においては、前記入出力制御部が、前記蓄積部に蓄積されているデータに付加された識別子に基づいて前記送受信部、前記入出力部また前記印刷出力部に出力する。

【 0 0 1 1 】

請求項 9 の発明においては、前記蓄積部に蓄積されているデータを前記送受信部、前記入出力部または前記印刷出力部に対応するデータの形式に変換するフォーマット変換部を設ける。

【 0 0 1 2 】

請求項 1 0 の発明においては、前記入出力装置がファクシミリ装置に装着させる。

請求項 1 1 の発明においては、前記入出力装置がプリンタ装置に装着させる。

請求項 1 2 の発明においては、前記入出力装置がデジタル複写機またはそれにファクシミリおよびプリンタ機能を合せたデジタル複写機に装着させる。

【 0 0 1 3 】

請求項 1 3 の発明においては、前記入出力装置がパーソナルコンピュータ等の情報処理装置に装着させる。

【 0 0 1 4 】

【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態を図 1 ～図 5 を参照して説明する。図 1 は本発明の実施例の構成図、図 2 は実施例のデータ蓄積動作のフローチャート、図 3 および図 4 は実施例の蓄積データの出力動作のフローチャート、図 5 は転送動作のフローチャートである。

【 0 0 1 5 】

図 1 において、1, 2 および 3 は、それぞれ F A X 回線網、インターネット回線網および有線 L A N 回線網と接続され、該回線網よりデータの受信および送信を行う送受信部、4 は親展用蓄積部 4 A、出力用蓄積部 4 B および保管用蓄積部 4 C で構成され、データを蓄積する蓄積部、5 は入出力制御部、6 はフォーマット変換部、7 は入力部、8 はデジタルデータの入出力を行うインタフェース（I / O）、9 は表示部、1 0 はスキャナ、1 1 は印刷部、1 2 は音声出力部、1 3 は出力変換部、1 4 は転送用識別子送出部および 1 5 は処理を行うプロセッサ（C P U）である。

【 0 0 1 6 】

つぎに、図 2 を参照して、蓄積部 4 へのデータの蓄積動作について説明する。

なお図 2 は送受信部 2 と接続されたインターネット回線よりデータの受信が生じた場合を示している。

【0017】

ステップ S 10 では、入出力制御部 5 は、送受信部 2 にインターネット回線網より受信があったか否かを判定し、判定が Y E S となるまで待機する。

ステップ S 11 では、入出力制御部 5 は、受信されたデータに親展用識別子が付加されているか否かを判定し、判定が Y E S の場合はステップ S 12 に移る。

【0018】

なお親展用識別子としては送信元を特定できる送信元識別子、送信先を特定できる送信先識別子またはこれら両方を識別子としてもよく、またはパスワードでもよい。

【0019】

ステップ S 12 では、入出力制御部 5 は、受信したデータを親展用蓄積部 4 A に蓄積する。

ステップ S 11 での判定が N O の場合はステップ S 13 に移り、入出力制御部 5 は、受信したデータに保管用識別子が付加されているか否かを判定し、判定が Y E S の場合はステップ S 14 に移り、保管用蓄積部 4 C に受信したデータを蓄積する。

【0020】

またステップ S 13 での判定が N O の場合はステップ S 15 に移り、入出力制御部 5 は、受信されたデータが転送用識別子であるか否かを判定し、判定が N O の場合はステップ S 16 に移り、出力用蓄積部 4 B に受信したデータを蓄積し、また判定が Y E S の場合はステップ S 17 に移り、受信した転送用識別子を図示しないメモリに記録する。

【0021】

なお以上の説明はインターネットを対象としたものであるが、F A X および有線 L A N の場合は F A X 文および L A N の転送データの先頭に識別子を付加し、図 2 で説明したと同様の動作を行わせて蓄積部 4 にデータを蓄積させる。

【0022】

また、入力部 7 で入力して生成されたデータ、I/O 8 を介して入力されたデータおよびスキャナ 10 でスキャンされたデータ等の識別子が付加されていないデータに対しては、入力部 7 より、これらのデータの蓄積に先だって識別子を入力させて図 2 で説明したと同様の動作を行わせて蓄積部 4 にデータを蓄積させる。

【0023】

つぎに、図 3 および図 4 を参照して、蓄積部 4 よりのデータの出力動作を説明する。なお図 3 および図 4 は親展用蓄積部 4 A よりの出力動作を示している。

ステップ S 2 0 では、入出力制御部 5 は、識別子として送信先識別子が付加されているデータが有るか否かを判定し、送信先識別子が有るものに対してはステップ S 2 1 に移って送信先を読取る。

【0024】

ステップ S 2 2 では、入出力制御部 5 は、ステップ S 2 1 で読取った送信先が F A X 回線網、インターネット回線網または有線 L A N 回線網のいずれに属するものであるかを判定し、判定された回線網に対応してフォーマット変換部 6 に指令して親展用蓄積部 4 A より読出したデータをフォーマット変換する。

【0025】

ステップ S 2 3 では、入出力制御部 5 は、対応する送受信部 1, 2 または 3 に指令して、フォーマット変換されたデータを送出する。

また、ステップ S 2 0 での判定が N O の場合、すなわち送信先の識別子がないデータに対しては、ステップ S 2 4 に移って入力部 7 より識別子を入力させる。

【0026】

ステップ S 2 5 では、入出力制御部 5 は、ステップ S 2 4 で入力された識別子と同じ識別子が付加されているデータが有るか否かを判定し、一致する識別子が有る場合はステップ S 2 6 に移る。

ステップ S 2 6 では、入出力制御部 5 は、ファイルより出力変換を読取り、印刷の場合はステップ S 2 7 に移って印刷部 1 1 で蓄積データの印刷を行う。

【0027】

なお印刷するデータが F A X の場合は出力変換部 1 3 で帯域圧縮を解除させ、

また符号文データの場合は出力変換部 1 3 で符号を文字のドットデータに展開して印刷部 1 1 で印刷が行われる。

【 0 0 2 8 】

またステップ S 2 6 での出力変換が音声の場合はステップ S 2 8 に移り、音声データが帯域圧縮されていれば出力変換部 1 3 で帯域圧縮を解除し、アナログ信号に変換して音声出力部 1 2 に出力する。

【 0 0 2 9 】

またステップ S 2 6 での出力変換が画像の場合はステップ S 2 9 に移り、入出力制御部 5 は、動画であるか否かを判定し、判定が Y E S の場合はステップ S 3 0 に移り、動画プログラムを立上げ、ステップ S 3 1 に移って、動画または静止画を表示部 9 で表示させ、ステップ S 3 2 に移って出力されたファイルの削除が行われる。

【 0 0 3 0 】

なおファイルを持帰りたい場合は I / O 8 に例えばフロッピーディスクを接続してコピーすることもできる。

【 0 0 3 1 】

以上説明したように、送信先が識別子があるファイルは自動的にファイルデータが中継され、その他のファイルに対してはパスワードに対応する識別子を入力させ、識別子が一致するものに対してのみ出力ができるようにしているため、機密を保護することができる。

【 0 0 3 2 】

以上は親展用蓄積部 4 A に蓄積されているデータの出力を説明したが、出力用蓄積部 4 B に蓄積されているデータに対しては入出力制御部 5 は、図 3 で説明したステップ S 2 4 が削除されて、自動的にステップ S 1 ～ S 3 2 が実行される。

【 0 0 3 3 】

また保管用蓄積部 4 C に蓄積されているデータに対しては、ステップ S 2 0 ～ S 2 3 が削除され、ステップ S 2 4 で識別子が入力されてステップ S 2 5 ～ S 3 2 が実行される。なおステップ S 2 4 での識別子の入力に際しては、蓄積されているファイルの識別子を表示部 9 に表示させて選択させるようにしてもよい。

【0034】

このように識別子を表示させて選択させるようにしたことにより、蓄積されているファイルのデータが公表を対象にするデータの場合、容易に必要なものを表示または印刷出力することができる。

【0035】

つぎに、図5を参照して、転送用識別子送出部14の動作を説明する。

図3のステップS24で説明したように、操作者は本発明の入出力装置より出力させる識別子を入力し、ステップS25では親展用蓄積部4Aより入力された識別子に対応するファイルをサーチし、蓄積されているデータを出力させるようにしている。

しかし、誤って他の入出力装置にデータが転送されて蓄積された場合は、目的とするデータを本入出力装置より出力させることができない。

転送用識別子送出部14は誤って蓄積されたデータを本入出力装置に転送させる転送用識別子を自動的に送出させるようにしたものである。

前述したように、ステップS24で識別子（ファイル名）を入力させ、ステップS25で親展用蓄積部4Aより対応するファイルをサーチし、ステップS50に移る。

ステップS50では、転送用識別子送出部14は、ステップS25で一致するファイルが有るか否かを判定し、一致するファイルが有る場合はステップS26に移り、図3および図4で説明したステップS26～S32が実行される。

ステップS50で一致するファイルが無い場合はステップS51に移り、表示部9に対応するファイル無しを表示し、ステップS52に移って他の入出力装置よりデータを転送させるか否かを表示させる。

この表示に従って操作者が入力部7より「転送させない」を入力すると動作は終了する。

また「転送させる」を入力するとステップS53に移り、転送用識別子にステップS24で入力した識別子（ファイル名）および正規の転送先である自入出力装置のアドレスを付加して送出する。

なお転送用識別子の送出先は例えばオフィスならばオフィス内に設置されてい

る入出力装置のアドレスを予め記録させておき、記録されているアドレスの全てに対して送出する。

また、転送用識別子を送出して他の入出力装置に蓄積されているデータを転送させ、転送したデータを直ちに印刷部 1 1 より出力させたい場合は、前述したように転送されたデータを出力用蓄積部 4 B に蓄積させるようにすればよい。

このような場合は、前述した転送用識別子に付加する識別子（ファイル名）および正規の転送先である自入出力装置のアドレスの他に、転送させるデータに付加する前述した親展用識別子および保管用識別子を付加しない指示を追加するようにすればよい。

転送されるデータに親展用識別子および保管用識別子が付加されていない場合は、図 2 で説明したように、転送されたデータは出力用蓄積部 4 B に蓄積され、出力用蓄積部 4 B に蓄積されたデータは前述したように直ちに印刷部 1 1 より印刷出力される。

なお実施例では転送用識別子の送出は入出力装置より行っていたが、送受信部 1, 2 または 3 と接続される例えばパーソナルコンピュータ等、転送識別子が入力できる装置であれば、どのような装置からでも転送用識別子を送出することができる。またこの場合のデータを転送させる転送先を指定することによって、目的とする入出力装置より印刷することができる。

つぎに図 2 のステップ S 1 7 で転送用識別子が記録された場合の動作を図 6 を参照して説明する。

転送用識別子が受信されると、以下に説明するように、転送用識別子に付加されたデータに基づき、対象とするファイルのデータを正規の送信先に転送する。

転送用識別子に付加されるデータは、図 5 で説明したように、蓄積部 4 に蓄積されているデータのファイル名および正規の送信先とで構成される。

【 0 0 3 6 】

そこで図 6 にもどって、送受信部 1, 2 または 3 より転送用識別子が受信されると、転送動作が開始され、ステップ S 4 0 では、入出力制御部 5 は、親展用蓄積部 4 A に蓄積されているデータのファイル名と受信した転送用識別子に付加されたデータ（ファイル名）と一致するものをサーチする。

【 0 0 3 7 】

ステップ S 4 2 では、サーチして一致するファイルが有る場合は、蓄積されているデータを転送用識別子に付加された正規の送信先（転送先）に対応する回線へのフォーマット変換をフォーマット変換部 6 で行い、ステップ S 4 2 に移って、対応する回線網と接続されている送受信部 1，2 または 3 より出力し、ステップ S 4 3 に移って、転送したファイルを削除する。

【 0 0 3 8 】

以上説明した実施例は本発明の入出力装置がファクシミリ装置に装着した場合を想定したものであるが、プリンタ、ディジタル複写機またはそれにファクシミリおよびプリンタ機能を合せた複合機、またはパーソナルコンピュータ等の情報処理装置に装着してもよい。

【 0 0 3 9 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によればデータ転送方法が異なる回線によって転送されたデータおよび入力されたデータを、指定された転送先に転送または印刷出力することができる。

また、以上のように対処できるためコストや設置スペースを低減することができる。

また誤ってデータが蓄積されても遠隔地より正規の送信先に容易に転送することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の第 1 の実施例の構成図である。

【図 2】

データ蓄積動作のフローチャートである。

【図 3】

蓄積データの出力動作のフローチャートである。

【図 4】

蓄積データの出力動作のフローチャートである。

【図 5】

転送用識別子送出部の動作フローチャートである。

【図 6】

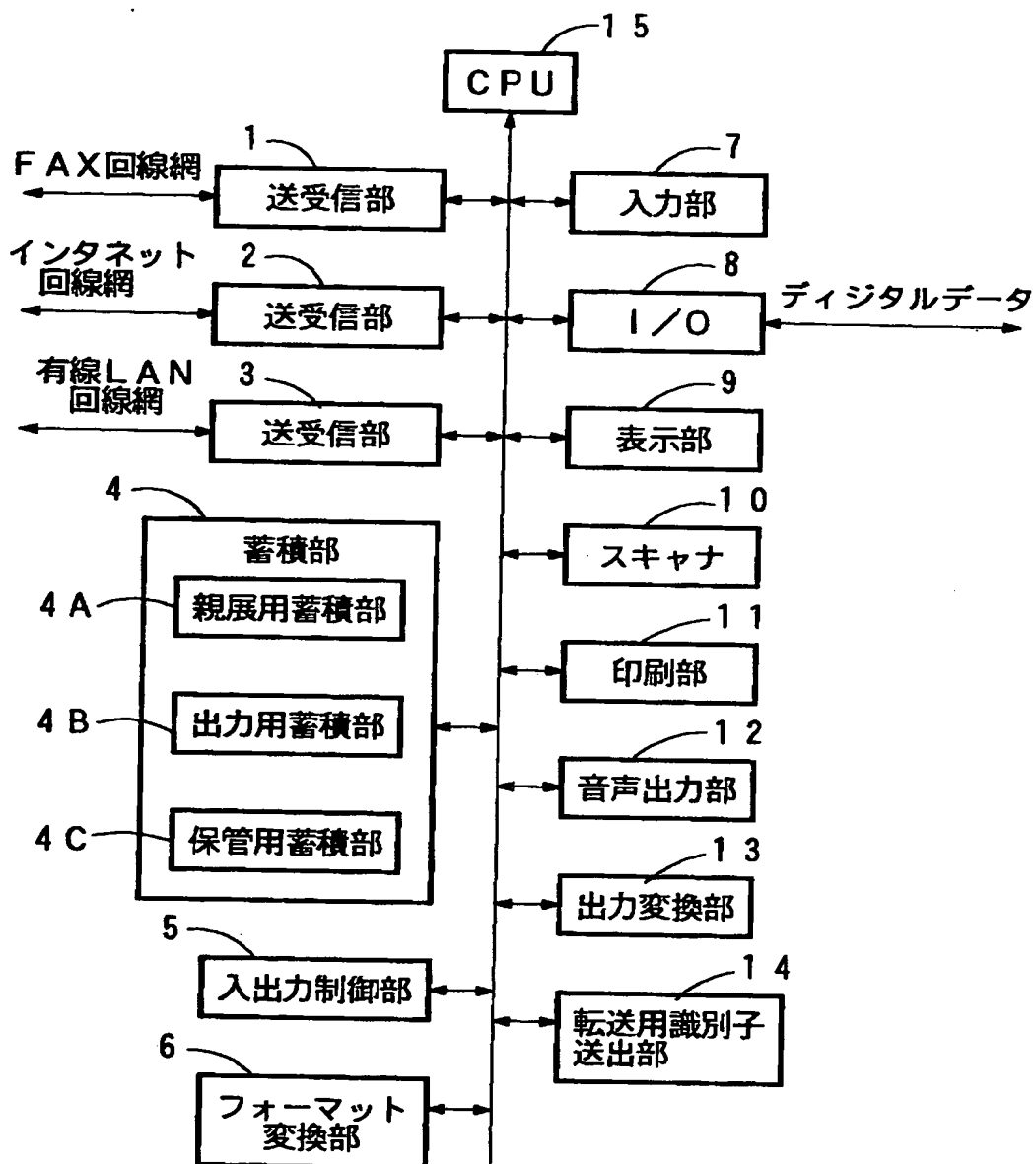
転送動作のフローチャートである。

【符号の説明】

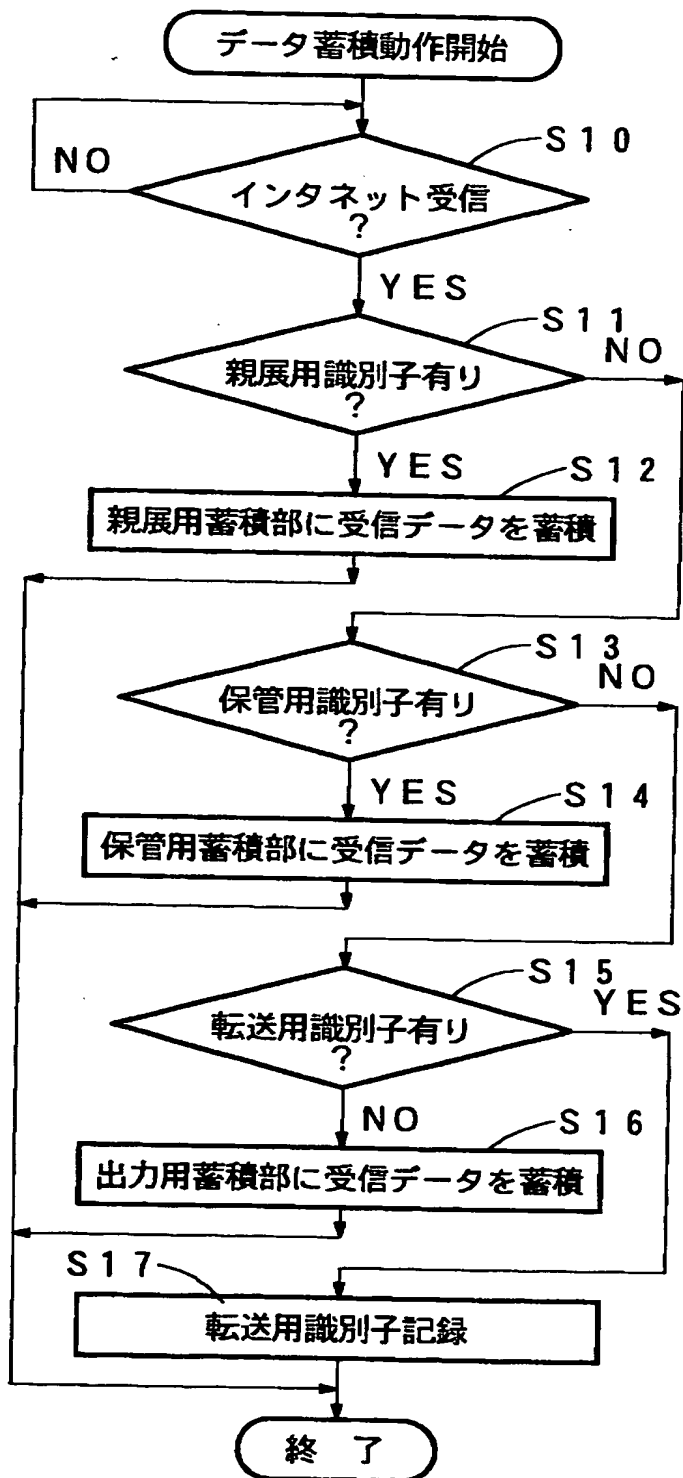
- | | |
|---------|---------------|
| 1, 2, 3 | 送受信部 |
| 4 | 蓄積部 |
| 4 A | 親展用蓄積部 |
| 4 B | 出力用蓄積部 |
| 4 C | 保管用蓄積部 |
| 5 | 入出力制御部 |
| 6 | フォーマット変換部 |
| 7 | 入力部 |
| 8 | インタフェース (I/O) |
| 9 | 表示部 |
| 1 0 | スキャナ |
| 1 1 | 印刷部 |
| 1 2 | 音声出力部 |
| 1 3 | 出力変換部 |
| 1 4 | 転送用識別子送出部 |
| 1 5 | プロセッサ (CPU) |

【書類名】 図面

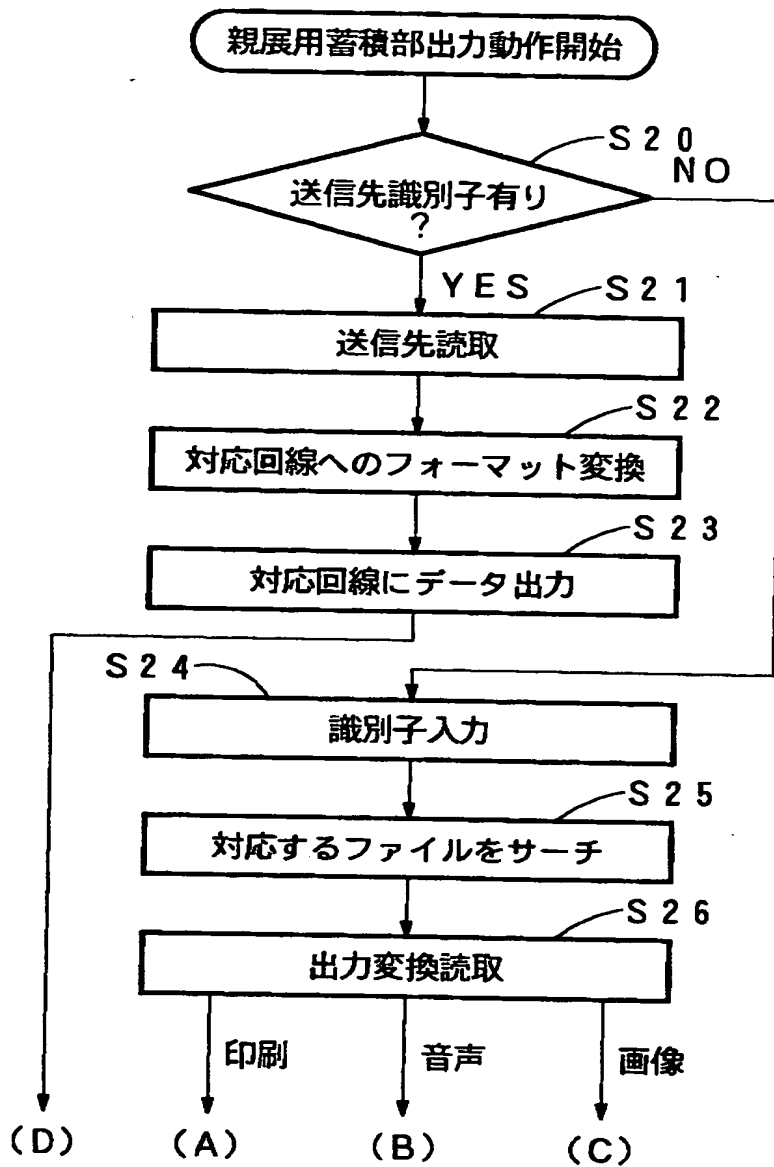
【図 1】



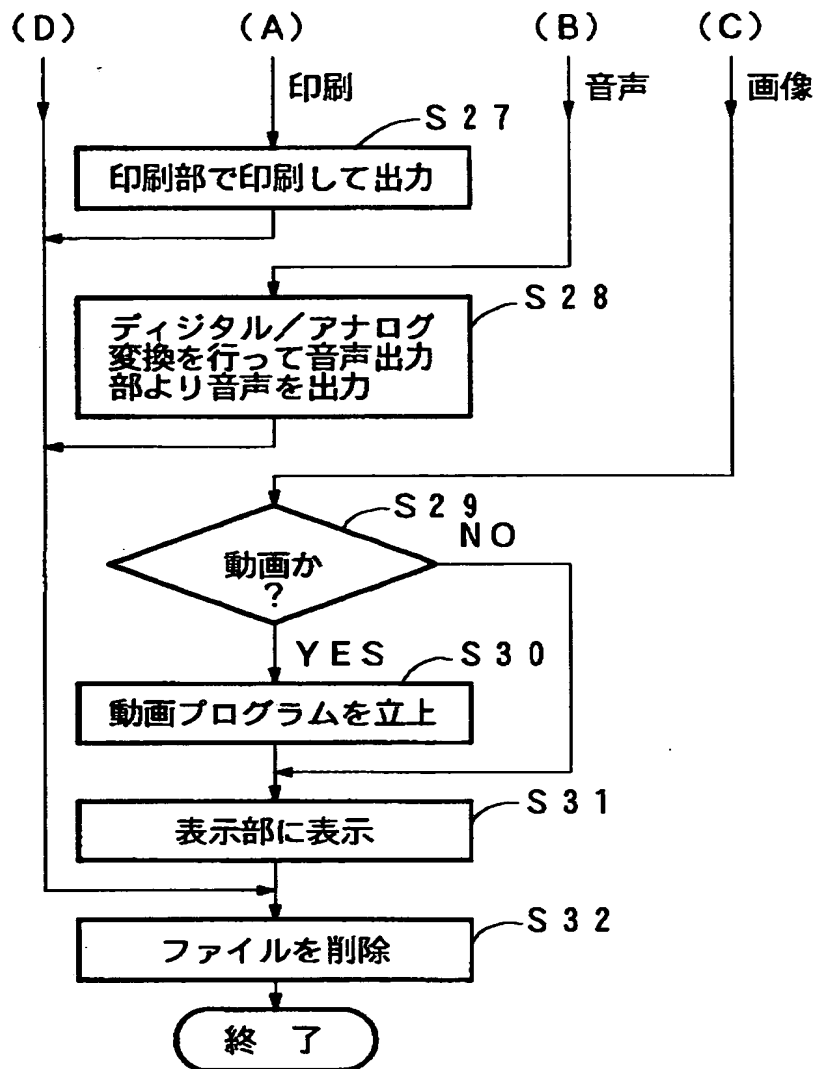
【図 2】



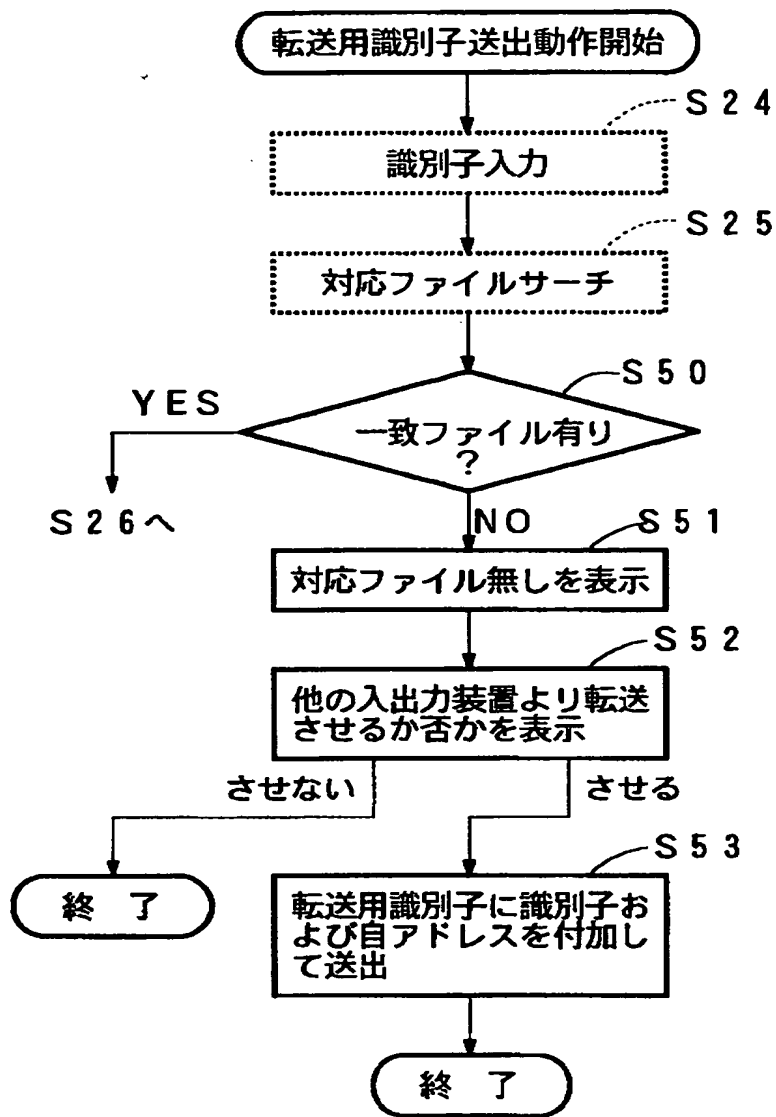
【図 3】



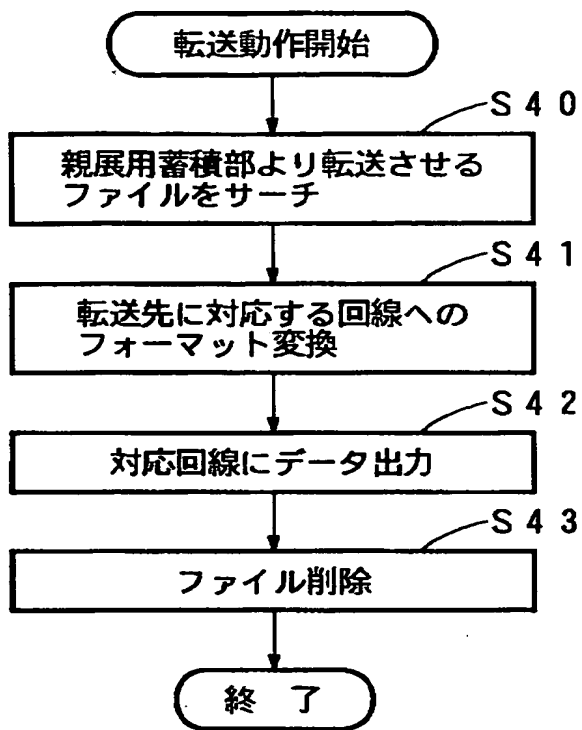
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 転送方法の異なる回線よりのデータおよび入力されてデータを指定された転送先に転送または印刷出力させるとともに誤って転送されたデータを正規の転送先に転送させる入出力装置を提供する。

【解決手段】 データの転送方法を異にする回線網に接続されてデータの送受信を行う送受信部と、印刷出力部と、入出力部と、データを蓄積する蓄積部と、送受信部および入出力部より入力されたデータを蓄積部に蓄積し、また蓄積部に蓄積されているデータを送受信部、入出力部、または印刷出力部に出力する入出力制御部と、を備え、送受信部で転送用識別子が受信された場合は、入出力制御部が転送用識別子に付加されているファイル名に対応するデータを転送用識別子に付加されている転送先に出力する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006747]

1. 変更年月日	1990年 8月24日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都大田区中馬込1丁目3番6号
氏 名	株式会社リコー